

平成20年度 小中連携・研究構想

川島中学校の教育目標

自己を厳しく見つめ 可能性を信じて
ねばり強くやりぬく

川島小学校の教育目標

心豊かなたくましい子
思いやりの心 じっくりかんがえる頭 じょうぶな体

教育の課題

- ・心の教育の充実や児童生徒一人ひとりに確かな学力の定着
- ・豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成
- ・児童生徒や地域の実態、ニーズをふまえた自立的かつ創造的な学校経営や、一人ひとりの子どもに応じたきめ細かな指導の充実

川島小中連携の歩み

「生きる力の育成(小中連携)」17年度からの実践内容から

小中連携による主題研究
確かな学力部会
スムーズなステップアップ部会
生き方部会

小中教職員の交流
小中合同会議

願う子どもの姿

学び方を確実に身につけ意欲的に学習に臨んでいる児童生徒
社会性(自信、表現力)、企画力、行動力、豊かな人間性を身につけた児童生徒
小から中へのあこがれを持ち、6年間の力を一層発揮できる児童生徒

研究主題

「生きる力を育成するための、9年間を見通した指導のあり方」
～小中連携による確かな学力、豊かな人間性、自立心の育成を通して～

研究仮説

小中学校が連携して「ゆるやかな接続」を行うなかで、9年間の指導の系統性を踏まえ、発達段階に応じたきめ細かな指導を行うことにより、生きる力(確かな学力・豊かな人間性・自立心)を身につけた児童生徒が育成できる。

重点内容

- ・確かな学力を身につけさせるための授業の工夫
- ・望ましい人間関係を築き、自己の生き方を追求する力を身につけるための生き方に関わる学習のあり方
- ・異学年交流、小中同による合同行事・授業・作業のあり方

地域の実態

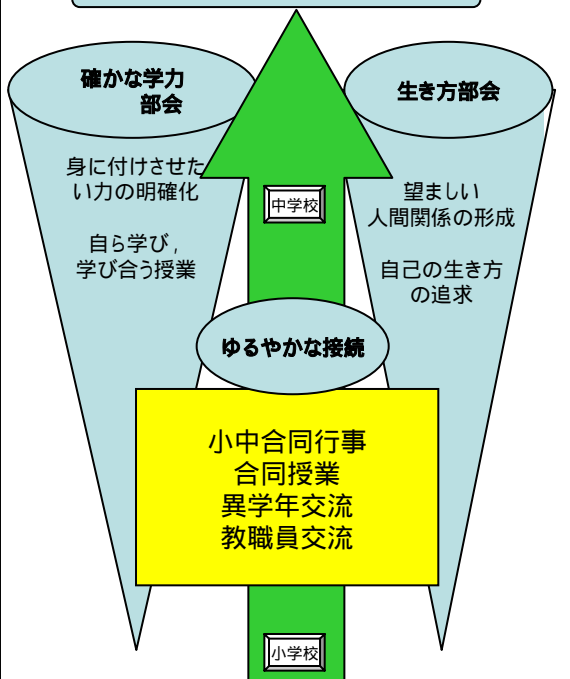
- ・地域には一小一中のみであり他からの影響を受けにくい環境にある。
- ・学校に対する期待は大きく、合併を機に児童生徒の躍進を期待する向きも見られる。

児童生徒の実態

6年生で発揮されたリーダー性が中学校1年生時に十分発揮されない。
中学校生活に対して期待もある反面、学習や人間関係などにおいて不安を感じている。
固定化された人間関係はお互いをよく知っているという良さもあるが、諦めや甘え、向上心の希薄さ、仲間同士の支え合いや励まし合いの弱さがある。この弱さは基礎学力の欠如や学ぶ意欲の低下にも影響がある。
自分の将来に対して消極的で目先だけの進路選択をししてしまう。

自己実現

確かな学力・豊かな人間性・自立心



研究内容 「確かな学力部会」
各教科におけるつけたい力を定着させるための工夫
(1) つけたい力の明確化
(2) 自分の考えをもち、表現できる指導のあり方
・個に対する手だての工夫
・授業展開や学習形態の工夫
・考えを交流する場の工夫

研究内容 「生き方部会」
勤労観・職業観を育むための授業実践と交流
・児童生徒の発達段階に応じた「勤労観・職業観」を育むための題材の工夫
・キャリアアドバイザーや先輩などの効果的な活用
9年間を見通した「生き方指導年間計画」「生き方指導能力構想図」の検討・改善

「ゆるやかな接続」
小中合同行事や合同授業、異学年交流の実施、教職員交流

研究成果の評価方法

二部会による研究推進

授業研究会・資料提案を通じた実践研究